

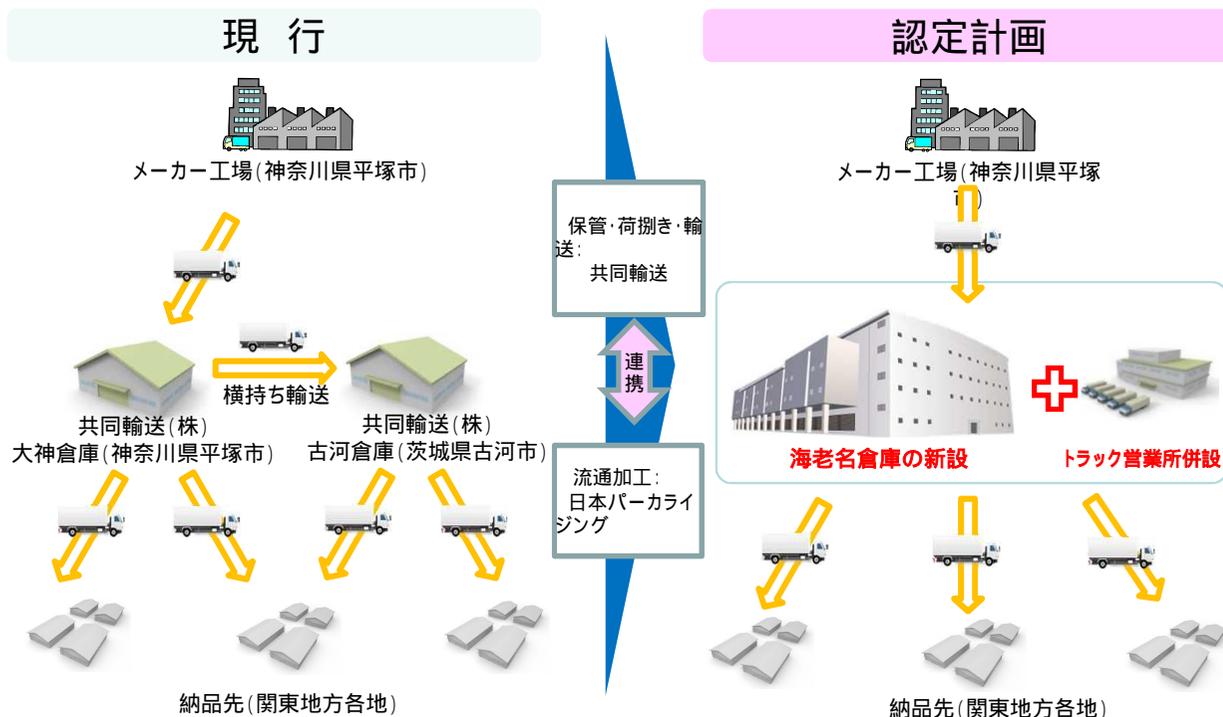
141. 海老名倉庫新設に伴う輸送網集約事業

平成31年4月23日 認定

荷主工場至近に特定流通業務施設を新設し、トラック営業所を併設する取組み（神奈川県海老名市）

- **日本パーカライジング**は、化学工業薬品の製品を2カ所に分散保管し、横持ち輸送が発生する等、非効率な輸送体制となっていたところ、自社工場至近に「**海老名倉庫**」を新設し、輸送網の集約を図り、トラック台数及び走行量、CO2排出量の削減に繋げる計画。令和2年10月より業務開始予定。
- 国土交通省は、平成31年4月23日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・2カ所に分散していた物流拠点を**集約**し、輻輳していた**輸送網を集約**。
- ・**トラックの台数、走行量を削減**することにより、**CO₂排出量を削減（約9%）**。
- ・**トラック営業所の併設**により、事業者間の連携を密にすることで、**手待ち時間を削減（70%）**。



< 実施事業者 >

- ・日本パーカライジング(株)
- ・共同輸送(株)

< 特定流通業務施設の概要 >

- ・所在：神奈川県海老名市中野3丁目1817他
- ・アクセス：東名高速道路厚木ICから2.0km
圏央道海老名ICから2.8km
- ・所有者：日本パーカライジング(株)
- ・延床面積：7,954.8㎡
- ・共同輸送(株)の**トラック営業所**を併設

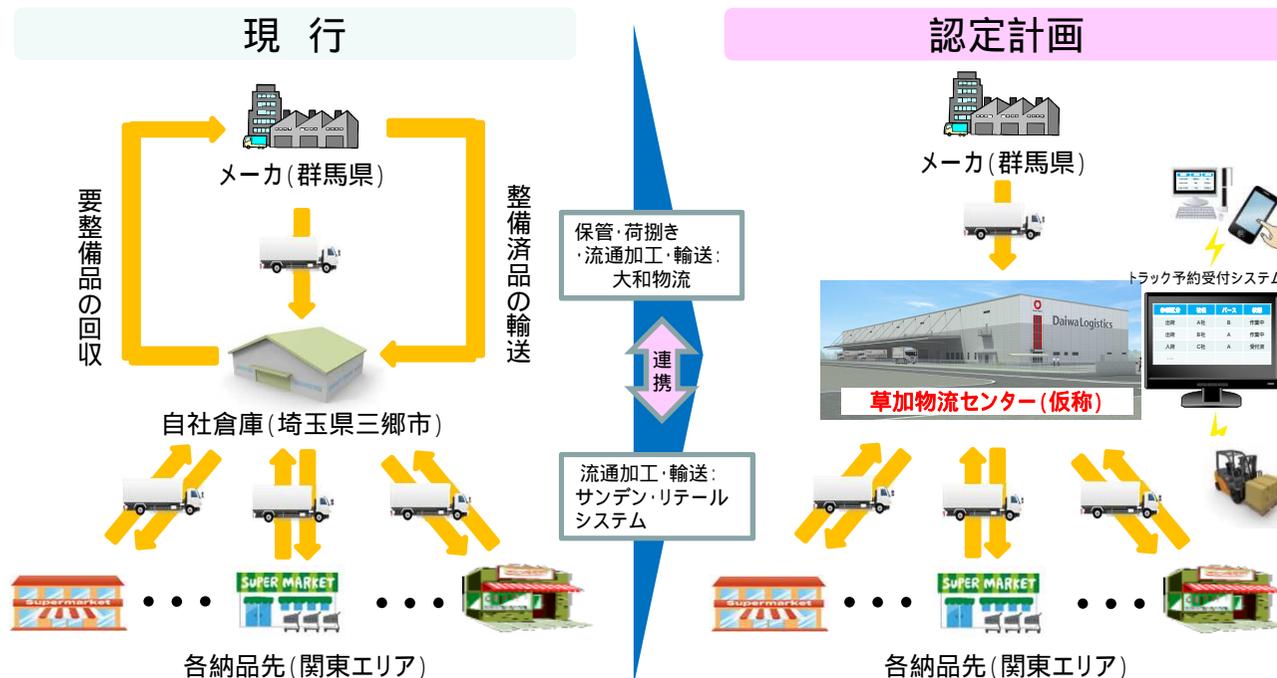
143. 草加物流センター(仮称)新設に伴う輸送網集約事業

令和元年5月10日 認定

分散している物流機能を集約し、トラック予約受付システムを導入する取組み (埼玉県草加市)

- **大和物流は、サンデン・リテールシステム**が生産する冷却ユニットやコーヒーマシーン等を自社倉庫で保管し、納品先に配送しているが、洗浄等の整備業務を要する製品については、庫内のスペース不足により、メーカー事業所に返送するなど非効率な輸送体制となっていた。今般、「**草加物流センター(仮称)**」を新設し、保管業務に加え洗浄等の流通加工を一体的に行うことにより、物流の効率化に繋げる計画。令和2年4月より業務開始。
- 国土交通省は、令和元年5月10日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画として認定**。

- ・横持ち輸送やトラックの走行距離を削減することにより、**CO₂排出量を削減(約20.1%)**。
- ・**トラック予約受付システムの導入**により、効率的な荷受け作業を実施することで、**手待ち時間を削減(70%)**。



< 実施事業者 >

- ・大和物流(株)
- ・サンデン・リテールシステム(株)

< 特定流通業務施設の概要 >

- ・所在:
埼玉県草加市柿木町字竹1195番1 他
- ・アクセス:
東京外環自動車道三郷西ICから約2.8km
- ・延べ床面積: 11,618㎡
- ・**トラック予約受付システムを導入**

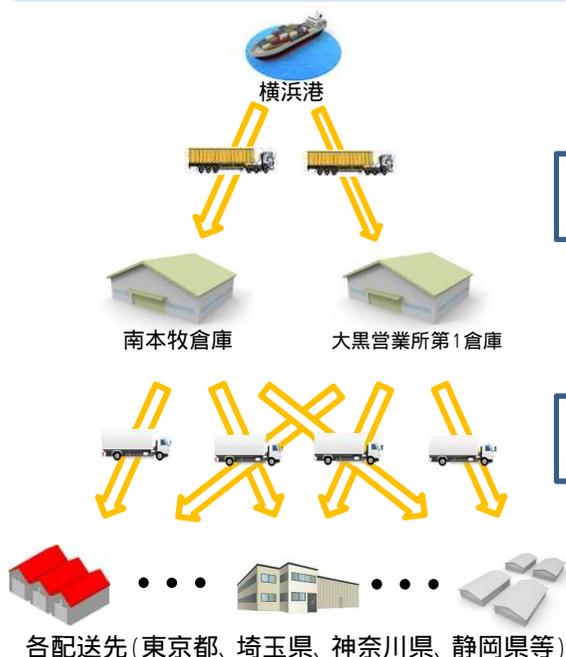
令和元年6月7日 認定

分散している拠点を集約し、トラック予約受付システムを導入する取組み（神奈川県横浜市）

- **住友倉庫は**、輸入貨物であるアルミを横浜港から荷揚げ後、同社倉庫に保管し、各納品先へ配送していたが、慢性的な庫腹不足により、別拠点到分散して保管するなど非効率な輸送・保管体制になっていた。今般、「**南本牧第二倉庫**」を新設し、保管拠点及び輸送網を集約して効率化を図り、令和元年6月より業務開始。
- 国土交通省は、令和元年6月7日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・分散していた物流拠点を集約し、輻輳していた輸送網を集約。
- ・トラックの走行距離等を削減することにより、**CO₂排出量を削減（約24%）**。
- ・トラック予約受付システムの導入により、**効率的な荷受け作業を実施することで、手待ち時間を削減（約60%）**。

現行



認定計画



< 実施事業者 >

- ・(株)住友倉庫
- ・井住運送(株)
- ・(株)高木運輸
- ・(有)大樹運輸

< 特定流通業務施設の概要 >

- ・所在：
神奈川県横浜市中区南本牧3-19
- ・アクセス：
首都高速湾岸線南本牧ふ頭ICから約2.2km
- ・延床面積：25,394m²
- ・**トラック予約受付システムを導入**

150. 東葉物流第一倉庫新設に伴う輸送網集約事業

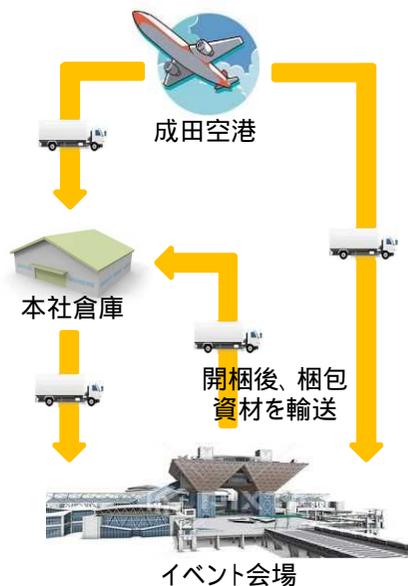
令和元年6月17日 認定

分散している拠点を集約し、トラック予約受付システムを導入する取組み（千葉県千葉市）

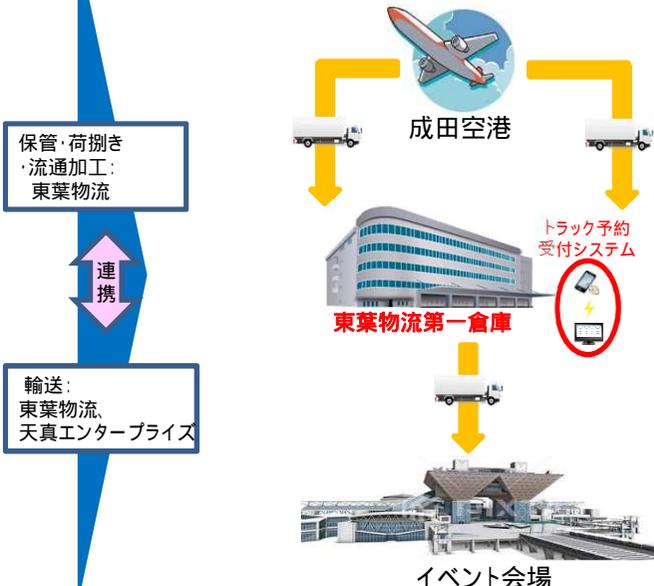
- **東葉物流は**、展示用産業機械を成田空港から、同社倉庫に保管し、開梱作業後、イベント会場へ配送しているが、同倉庫が手狭なため、成田空港から直接イベント会場に配送し、開梱作業後、梱包資材を同倉庫まで輸送するなど、非効率な輸送・保管体制になっていた。今般、「**第一倉庫**」を新設し、輸送網を集約するとともに、流通加工用の空間を確保して物流の効率化に繋げる計画。令和2年1月より業務開始予定。
- 国土交通省は、令和元年6月17日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・分散していた物流拠点を集約し、輻輳していた輸送網を集約。
- ・トラックの走行距離等を削減することにより、**CO₂排出量を削減（約25%）**。
- ・トラック予約受付システムの導入により、**効率的な荷受け作業を実施することで、手待ち時間を削減（約70%）**。

現行



認定計画



< 実施事業者 >

- ・(株)東葉物流
- ・天真エンタープライズ(有)

< 特定流通業務施設の概要 >

- ・所在：
千葉県千葉市花見川区大日町
1450-2他
- ・アクセス：
東関東自動車道千葉北ICから
約1.4km
- ・延床面積： 3,027.24㎡
- ・**トラック予約受付システム**を導入

162. 鉄鋼材等の混載による幹線輸送の集約化

令和元年7月31日 認定

実施主体

総合トラック(株)、(株)大栄、(株)梶哲商店、(株)メタル便

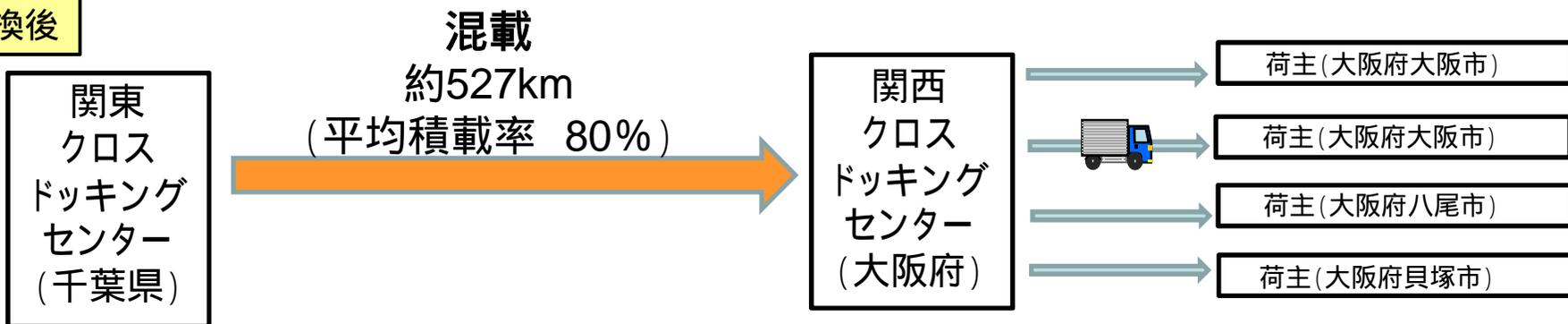
事業内容

関東 関西向けの鉄鋼材等を各々陸送していたが、混載による幹線輸送の集約化を実施し、効率化を図る。

転換前



転換後



特徴

- ・複数荷主による混載。
- ・幹線輸送の集約化により、平均積載率の向上。

効果

- ・ CO₂排出削減量: 180.6t (68.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 4,032時間 (75.0%)

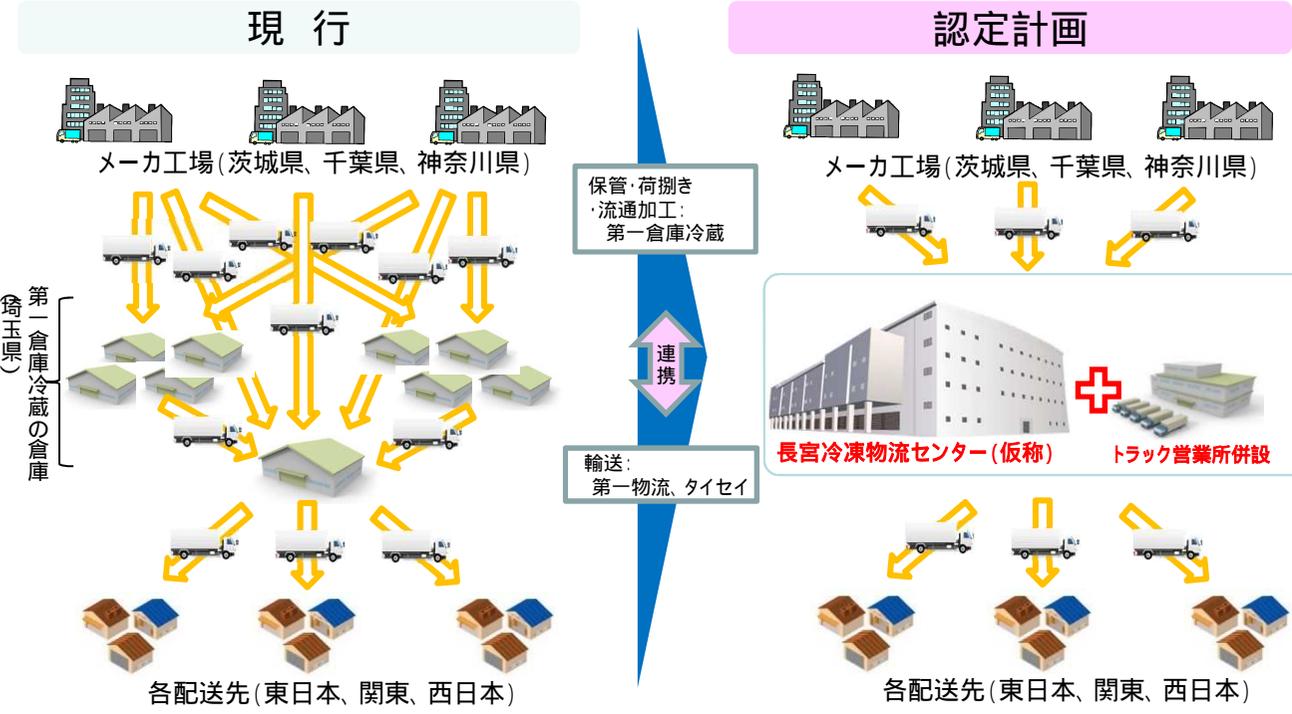
168.長宮冷凍物流センター(仮称)新設に伴う輸送網集約事業

令和元年9月17日 認定

分散している拠点を集約し、トラック営業所を併設する取組み (埼玉県さいたま市)

- **第一倉庫冷蔵**は、埼玉県内9か所に点在する倉庫で冷凍食品等を保管・輸送しており、非効率な輸送体制になっていた。今般、「**長宮冷凍物流センター(仮称)**」を新設し、保管拠点及び輸送網を集約して効率化を図り、令和4年4月より業務開始予定。
- 国土交通省は、令和元年9月17日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・分散していた**保管拠点を集約**し、重複していた**輸送網を集約**。
- ・トラックの台数及びトラックの走行距離を削減することにより、**CO₂排出量を削減(約11%)**。
- ・敷地内にトラック営業所を併設し、事業者間の連携を密にすることで、**手待ち時間を削減(60%)**。



< 実施事業者 >

- ・第一倉庫冷蔵(株)
- ・第一物流(株)
- ・(株)タイセイ

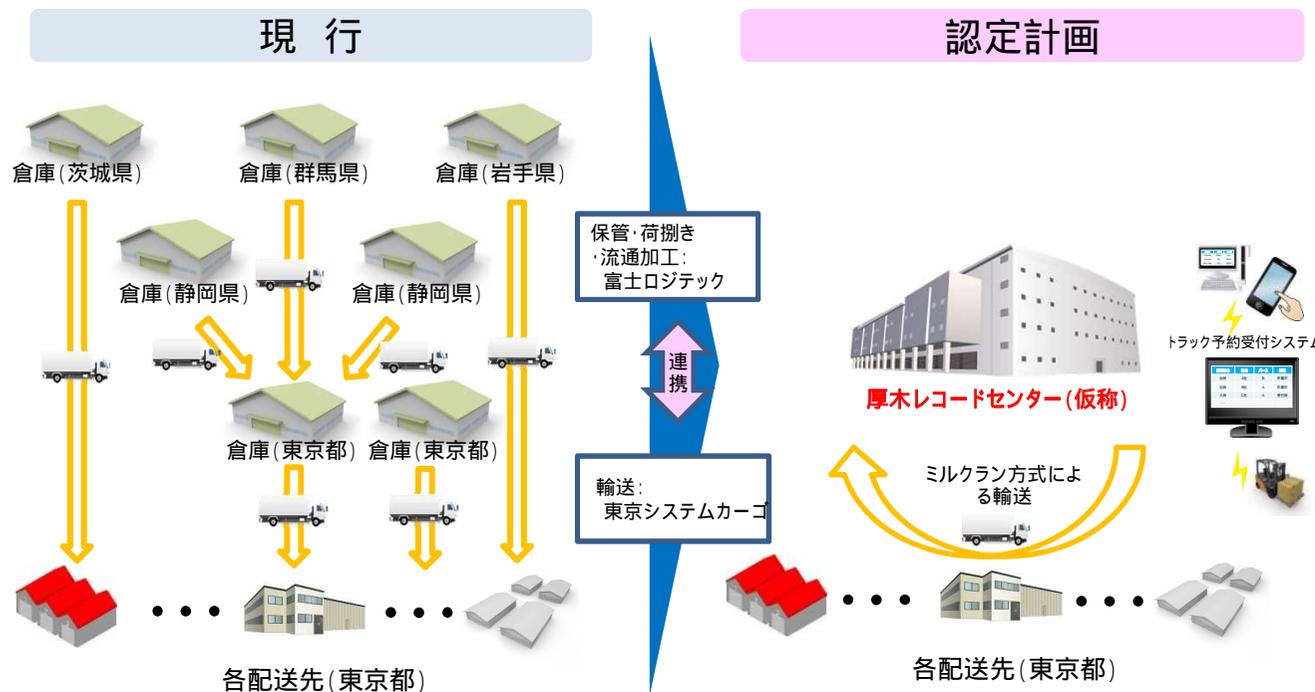
< 特定流通業務施設の概要 >

- ・所在: 埼玉県さいたま市岩槻区長宮1474-1
- ・アクセス: 東北自動車道岩槻ICから約4km
- ・容積: 194,019m³
- ・第一物流のトラック営業所を併設

分散している拠点を集約し、トラック予約受付システムを導入する取組み (神奈川県横浜市)

- **富士ロジテック**は、静岡県及び首都圏を中心に、文書・日用品等の貨物の保管・配送等の業務を行っているが、物流拠点が複数箇所に分散しており、非効率な輸送・保管体制になっていた。今般、「**厚木レコードセンター(仮称)**」を新設し、保管拠点及び輸送網を集約して効率化を図り、令和3年7月より業務開始予定。
- 国土交通省は、令和元年12月3日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・分散していた物流拠点を集約し、輻輳していた輸送網を集約。
- ・トラックの走行距離等を削減することにより、**CO₂排出量を削減(約46%)**。
- ・**トラック予約受付システムの導入**により、**効率的な荷受け作業を実施することで、手待ち時間を削減(80%)**。



< 実施事業者 >

- ・(株)富士ロジテック
- ・東京システムカーゴ(株)
- ・関電不動産開発(株)

< 特定流通業務施設の概要 >

- ・所在:
神奈川県厚木市三田1569番他
- ・アクセス:
首都圏中央道路自動車道厚木ICから約1.6km
- ・延床面積: 17,006m²
- ・**トラック予約受付システムを導入**

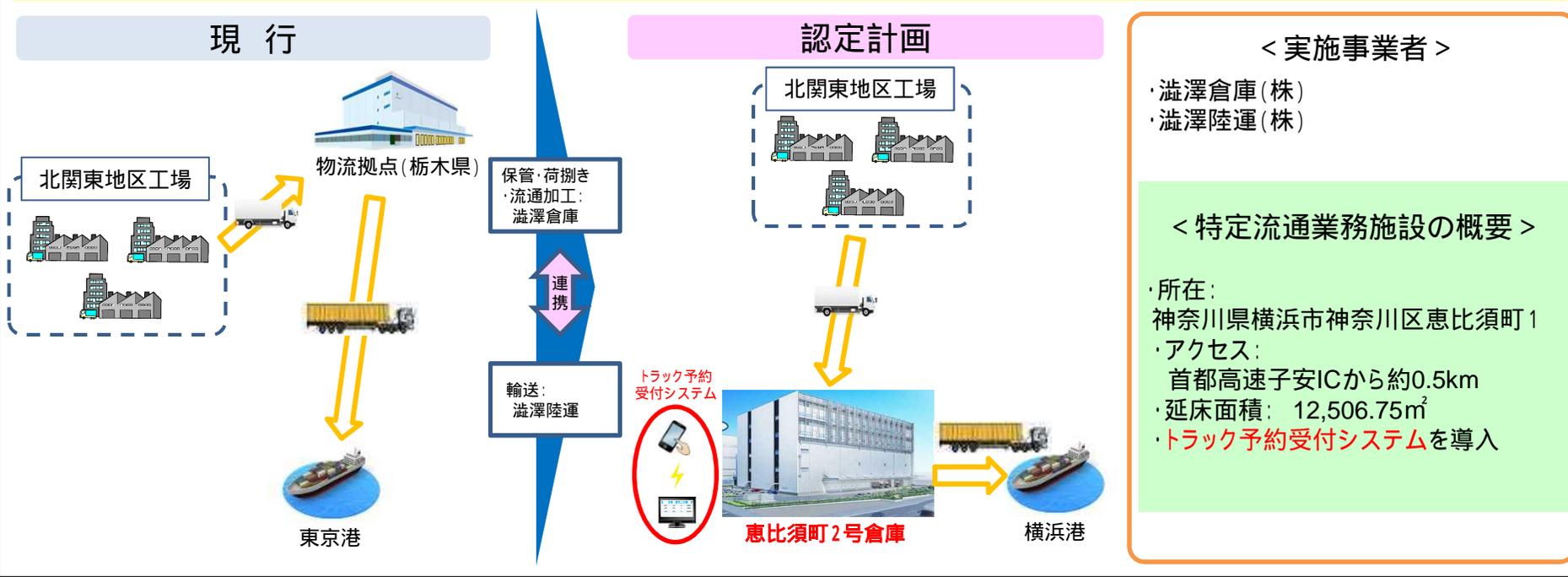
195. 恵比須町2号倉庫新設に伴う輸送網集約事業

令和2年1月27日 認定

輸出港付近に特定流通業務施設を整備し、輸送距離を削減する取組み（神奈川県横浜市）

- 現在、輸出貨物である自動車部品は、北関東地区の各工場から栃木県の物流拠点を経由して、東京港に輸送されており、無駄なトラック輸送が発生するなど、非効率な輸送体制となっている。今般、**澁澤倉庫**が横浜港付近に「**恵比須町2号倉庫**」を新設し、製品の集約管理を行い、入庫から流通加工まで一貫体制を確立することにより、物流の効率化を図り、令和2年7月より業務開始予定。
- 国土交通省は、令和2年1月27日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・輸出港付近に物流拠点を整備し、輸送網を集約するとともに、トラックの輸送距離を削減することにより、**CO₂排出量を削減（約24%）**。
- ・**トラック予約受付システムの導入**により、効率的な荷受け作業を実施することで、**手待ち時間を削減（70%）**。



分散している拠点を集約し、トラック予約受付システムを導入する取組み（茨城県つくば市）

- 横浜冷凍は、カトーレックと連携し、畜産・水産加工品の保管・輸送等の業務を行っているが、川崎の物流拠点のみならず、つくば製造工場も保管・輸送拠点になっているなど、非効率な物流体制となっている。今般、「つくば物流センター」を新設し、物流拠点及び輸送網を集約して効率化を図る。令和2年3月より業務開始。
- 国土交通省は、令和2年2月18日付けで改正物流総合効率化法の規定により総合効率化計画として認定。

- ・分散していた保管拠点を集約し、輻輳していた輸送網を集約。
- ・トラックの走行距離等の削減により、CO₂排出量を削減（約23.3%）。
- ・トラック予約受付システムを導入し、効率的な荷受け作業を実施することにより、手待ち時間を削減（60%）。

